

シワよ、驚け。
ニールワン®※1を、全方位に。
シワ改善有効成分、ニールワン®配合の先行※2美容液
『リンクルショット メディカル セラム デュオ』 誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川 美紀）は、「リンクルショット」ブランドより、シワ改善有効成分ニールワン®配合の先行美容液『リンクルショット メディカル セラム デュオ』（A剤<ガラスびん>1.5mL×2、B剤<チューブ>13.5mL×2、ノズル・本体キャップ×2 ¥19,800 <税抜 ¥18,000>）を2025年1月1日に発売します。

今回ポーラは新たに、気づきにくいものの顔の様々な部位に存在する、散在したシワがあること、シワの一因である好中球エラストラーゼが全顔に存在していることに着目。そこで、有効成分ニールワン®を心地よいおいと共に全顔に届ける処方に挑戦しました。水に触れるとゆるやかに分解されてしまう、繊細なニールワン®を全顔に届けるために様々な壁を乗り越え、国内初※3となる、2剤を自分で混合して使うシワ改善医薬部外品の美容液を開発しました。

◆『リンクルショット メディカル セラム デュオ』の主な特長

【目指す肌】シワを改善し、つるんとなめらかで、うるおいに満ちた、ぱんっと弾けるようなつややかなハリ肌を。

【成分】ポーラ独自開発のシワ改善有効成分「ニールワン®」を配合。

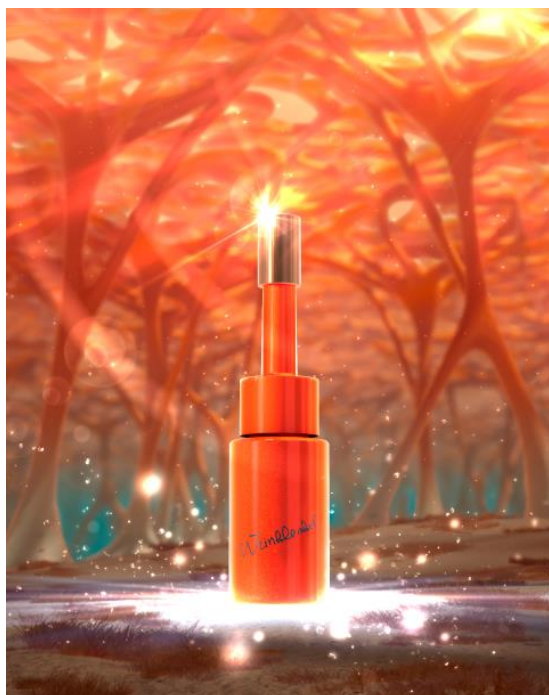
ニールワン®は、シワの一因である、コラーゲンを分解する好中球エラストラーゼの働きを抑え、真皮のコラーゲン線維をキレイに整えることでハリ弾力を高め、シワを改善する。

新ポーラオリジナル複合保湿成分「ニレナジー※4」「Dリキッド※5」、ポーラオリジナル複合保湿成分「NEREリキッド N※6」を配合。

【感触】みずみずしくまろやかに伸び広がり、すばやく全顔になじむモイストフレッシュテクスチャー。

【処方】①シワ改善有効成分ニールワン®を全顔になじみやすいみずみずしいテクスチャーで使用するために、2つの剤を自分で混ぜ合わせる、ポーラ独自のリンクルショットミックス処方を搭載。自分で混ぜることでみずみずしい感触と、後に使うアイテムのなじみやすさを両立。

②ピンとしたハリ感ベールを形成し、つるんとなめらかな仕上がりを目指すベール設計。さらに、モイストキャッチャーを配合。うるおいを与え、ベール内のうるおいをキープし、後に使うアイテムがなじみやすいベール。



全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約470店舗・旗艦店「ポーラ ギンザ」・全国有名百貨店等ポーラコーナー83店舗を含む約2,700店、日本国内空港免税店コーナー11店舗、ポーラ公式オンラインストア (<https://www.pola.co.jp/ec/>)にてお取り扱いします。（2023年12月末時点）海外では、中国（越境EC）・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・マレーシアの7つの国と地域、韓国の免税店にて順次発売予定です。

2025年1月1日発売

リンクルショット メディカル セラム デュオ

販売名：ポーラ リンクルショット メディカル セラム デュオ

【医薬部外品】（美容液）

有効成分：ニールワン®（シワ改善）

¥19,800（税抜 ¥18,000）

A剤<ガラスびん>1.5mL×2

B剤<チューブ> 13.5mL×2

ノズル・本体キャップ ×2

◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

※1：三フッ化イソプロピルオキソプロピルアミノカルボニルピロリジナルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

※2：洗顔後、化粧水前に使用する ※3：2024年3月に二剤混合式のシワ改善医薬部外品として初承認

※4：シラカバエキスとユーカリエキスの複合成分 ※5：コウキエキス-2とシナノキエキスの複合成分

※6：油溶性桃葉エキスとスギナエキスの複合成分

Wrinkle shot

シワよ、驚け。

目立つシワだけではない。

ひそかに、けれど確かに

顔には、さまざまなシワが存在する。

それはハリや明るい印象を奪ってしまう。

シワ改善のパイオニア^{*1}として。

ポーラがつくるしかない。独自のサイエンスで。

リンクルショット メディカル セラム デュオ。

日本唯一のシワ改善メカニズム^{*2}を、全顔へ。

繊細で壊れやすいゆえに不可能と考えられていた、

有効成分「ニールワン^{*3}」を

全顔にみずみずしく届ける処方をついに実現。

広く、すみずみまで。肌の淵にまで行き渡り、

いきいきと満ち満ちた肌印象を。

さあ、すべてのシワよ、驚け。

広く、すみずみまで。シワ改善は、全顔へ。

POLA リンクルショット メディカル セラム デュオ

【医薬部外品】

※1：シワを改善する医薬部外品を2017年1月に日本で初めて販売

※2：好中球エラスターゼの活性阻害により、真皮成分の分解&生成のバランスを整えるシワ改善メカニズム

※3：三フッ化イソプロピルオキシプロピルアミノカルボニルピロリジナルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

POLA

Wrinkle shot

シワよ、驚け。

ニールワン[®]*1を、全方位に。

シワ改善有効成分、ニールワン[®]配合の先行*2美容液

『リンクルショット メディカル セラム デュオ』誕生

世界中の人々に、悩みのない、明るい未来を届けたいという想いで

ポーラは2002年から、シワ研究をスタート。

15年の苦節の末、2017年に

ポーラが独自に開発したシワ改善医薬部外品有効成分ニールワン[®]を配合し、

日本初*3・シワ改善美容液「リンクルショット メディカル セラム*4」が誕生。

シワ改善市場を切りひらきました。

今回ポーラは新たに、気づきにくいものの顔の様々な部位に存在する、散在したシワがあること、

シワの一因である好中球エラスターゼが、全顔に存在していることに着目。

そこで、有効成分ニールワン[®]を心地よいうおいと共に全顔に届ける処方に挑戦しました。

水に触れるとゆるやかに分解されてしまう、繊細なニールワン[®]を全顔に届けるために様々な壁を乗り越え、

国内初*5となる、2剤を自分で混合して使うシワ改善医薬部外品の美容液を開発。

シワは、喜びや悲しみなどあらゆる感情を表し、私たちの人生と共にあるものだから。

もっと自分らしい表情や個性を愛せる世界にするために、あなたを悩ませるシワは改善したい。

リンクルショットは、すべてのシワを美しさの可能性に変えていくことを目指します。

2025年1月1日発売

リンクルショット メディカル セラム デュオ

販売名: ポーラ リンクルショット メディカル セラム デュオ

【医薬部外品】(美容液)

有効成分: ニールワン[®]
(シワ改善)

¥19,800 (税抜 ¥18,000)

・アレルギーテスト済み
(すべての方にアレルギーが起きないというわけではありません)



A剤(ガラスびん) 1.5mL×2 B剤(チューブ) 13.5mL×2 ノズル・本体キャップ×2



*1: 三フッ化イソプロピルオキソプロピルアミノカルボニルピロリジナルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na
*2: 洗顔後、化粧水前に使用する ※3: 2016年7月にシワを改善する医薬部外品として初承認。

*4: 【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム (医薬部外品) ※5: 2024年3月に二剤混合式のシワ改善医薬部外品として初承認

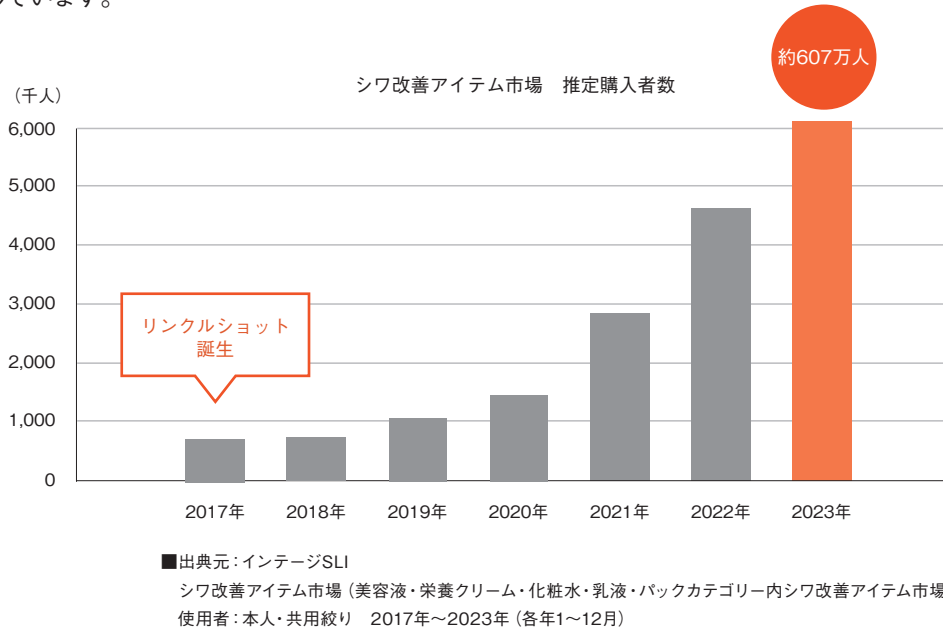
POLA

[開発背景]

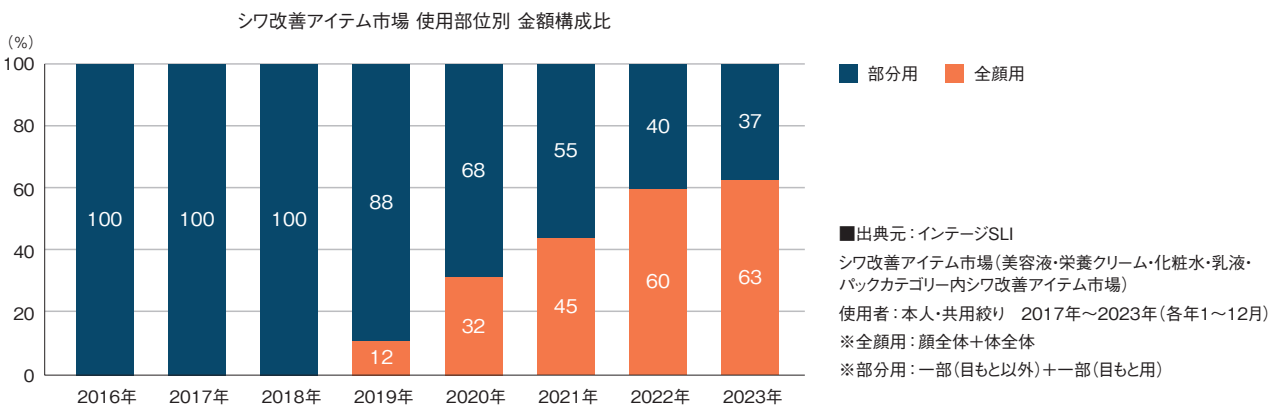
シワ改善市場の拡大

2017年、シワ改善の市場を切りひらき誕生したリンクルショット メディカル セラム^{*1}は、2024年6月までの累計で、約178万人ものお客さまに体験いただき、約450万本、約573億円の売上を達成しています。(2017年1月～2024年6月末の、リンクルショット メディカル セラム、リンクルショット メディカル セラム N^{*2}の累計実績 ポーラ調べ)

下のデータは、シワ改善市場における、美容液・栄養クリーム・化粧水・乳液・パックカテゴリーでの購入者数を表したものです。リンクルショット メディカル セラムの誕生以来、シワ改善市場はコロナ禍を経ても尚、拡大し続け、約607万人規模まで成長しています。



シワ改善市場の拡大とともに、全顔用のシワ改善美容液の使用者が年々増加しています。(下グラフ参照)



また、どのような理由でシワケアの全顔用・部分用のアイテムを使用しているか調査*した結果、部分用製品使用者は「シワ改善効果」を最重視しているのに対し、全顔用製品使用者は「塗りやすさ」「保湿」を重視していることがわかりました。

*調査期間:2024年7月

人数:部分用製品 計446名、全顔用製品 計1120名

回答者:シワケア製品を使用している日本在住の20～60代女性

回答者に重複あり

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

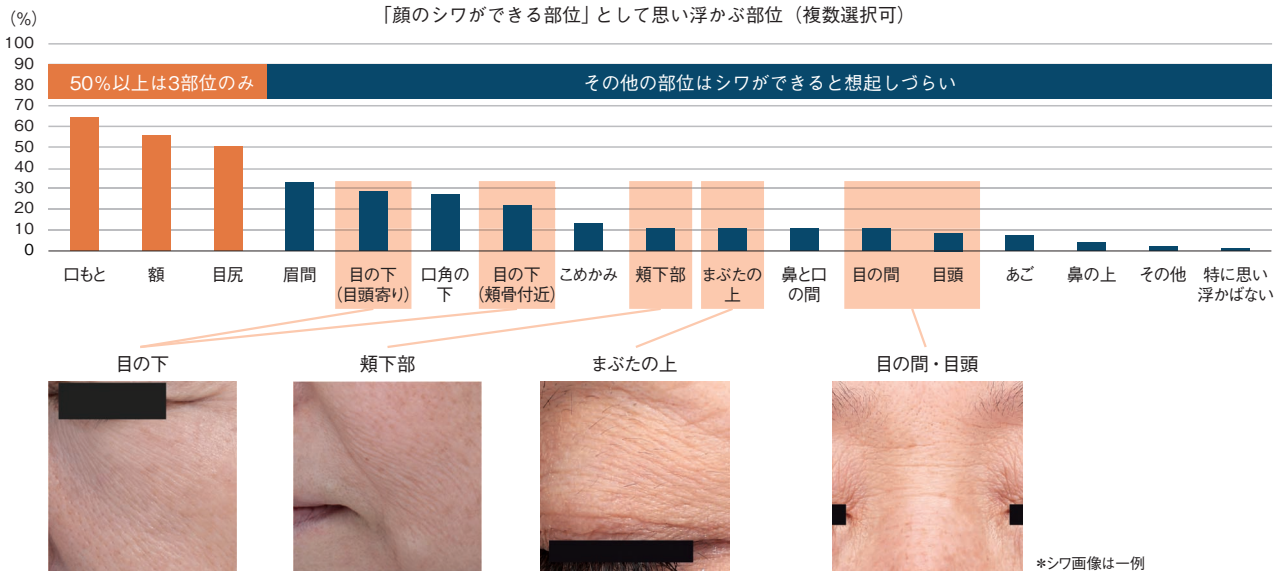
※1:【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム (医薬部外品)

※2:【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム N (医薬部外品)

Wrinkle shot

[開発背景]

下のデータは、「顔のシワができる部位」として思い浮かぶ部位についてのアンケート結果です。シワを気にしている人でも、シワができる部位として50%以上の方が思い浮かべたのは、口もと・額・目尻の3部位のみ。それ以外の多くの部位、例えば、目の下や頬下部、まぶた、目の間などは、シワができるにも関わらず、シワができるとはあまり思われていないことがわかりました。



調査内容: 「顔のシワができる部位」として思い浮かぶ部位を、顔のイラストに示した15ヵ所から選択。

調査期間: 2024年7~8月

回答者: シワを気にしている日本在住の20~70代男女

人数: 5,349名 (各年代約900名、男女ほぼ同数)

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

シワ改善有効成分「ニールワン[®]※1」全顔プロジェクトを始動

ポーラは15年の年月をかけて、2017年に、シワを改善する医薬部外品有効成分ニールワン[®]を配合した日本初^{※2}のシワ改善美容液を発売。シワ改善市場の幕開けとなりました。

実はこの時から、ポーラが開発した有効成分ニールワン[®]を心地よいうるおいと共に全顔に届けるためのプロジェクトが始まっていました。

ニールワン[®]全顔プロジェクトが始動

シワ改善市場の誕生



※1: 三フッ化イソプロピルオキシプロピルアミノカルボニルピロリジナルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンジルアミノ酢酸Na

※2: 2016年7月にシワを改善する医薬部外品として初承認。

Wrinkle shot

[シワの研究]

新着目

全顔の散在シワ

今回ポーラは新たに、気づきづらいものの顔全体に存在するシワを、「散在シワ」と名づけました。これらの散在シワは、顔全体の様々な部分で確認されています。

全顔の散在シワ

- ・顔全体の様々なところに見える、真皮性のシワ。
- ・自分でも意識していないところに現れるため気づきにくい。

ポーラが考える、悩みにつながるシワの種類

下記は、お客様の悩みにつながるシワの種類を一覧化したものです。乾燥による小ジワ「乾燥小ジワ」と、リンクルショットが今まで提唱してきた真皮性のシワに分けられます。真皮性のシワのなかでも、部分にあるものを「定着ジワ」、全顔にあるものを「散在シワ」としました。

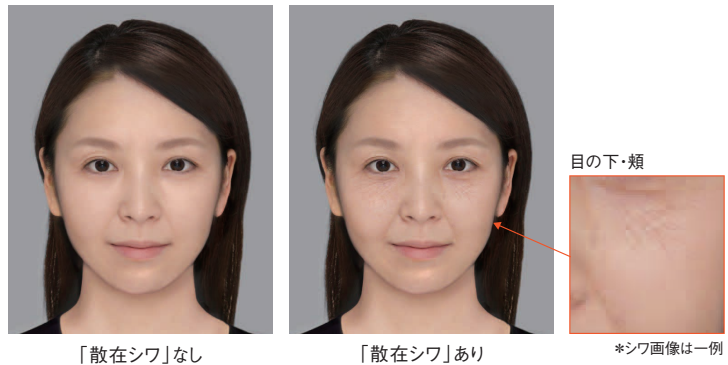
乾燥による	真皮の構造乱れによる(真皮性)	
<p>乾燥小ジワ</p>  <ul style="list-style-type: none">●乾燥によって現れる●乾燥による小じわを目立たなくする 効能試験済みの化粧品でのケアを推奨	<p>部分の定着ジワ</p>  <p>例：眉間</p> <p><目尻、口もと、眉間など></p> <ul style="list-style-type: none">●表情圧が局所的にかかる部位にできる●自分でも意識しやすいところに現れるため気づきやすい●無表情のときも刻まれている	<p>NEW 全顔の散在シワ</p>  <p>例：目の下</p> <p><顔全体の様々なところ></p> <ul style="list-style-type: none">●表情圧が緩やかにかかる部位にできる●自分でも意識していないところに現れるため気づきにくい●無表情のときも刻まれている <p>※シワ画像と各シワの部位は一例</p>

顔の印象を左右する散在シワ

これらの画像は、複数人物の合成データをもとに加工した画像に対し、部分の定着ジワを加えたシミュレーション画像です。右の画像には、さらに散在シワを加えています。

2枚の画像を複数名の方にモニター上で見比べていただいたところ、散在シワがない画像の方が有意に、肌がより明るく、ハリがあるように感じるという印象評価結果が得られました。

「散在シワ」は本人も気がつきにくいですが、見た目の印象に影響を与えることが考えられます。



調査内容：部分の定着ジワのみがある画像(左)、それに散在シワを加えた画像(右)をモニターに提示し、どちらの方がより肌に明るさ・ハリを感じるかを評価。
調査期間：2024年8月22日～8月23日 回答者：20～50代男女 計31名
各評価点に対し、1標本のWilcoxonの符号付順位検定により有意差を検出(有意水準5%)

(ポーラ化成工業 研究所調べ) *画像はイメージです

POLA

Wrinkle shot

[シワの研究]

ポーラが日本で初めて「好中球エラスターゼ」がシワの一因であることを発見

ポーラは、初代リンクルショット メディカル セラム[®] 誕生時、シワができる一因が「好中球エラスターゼ」にあることを日本で初めてつきとめました。

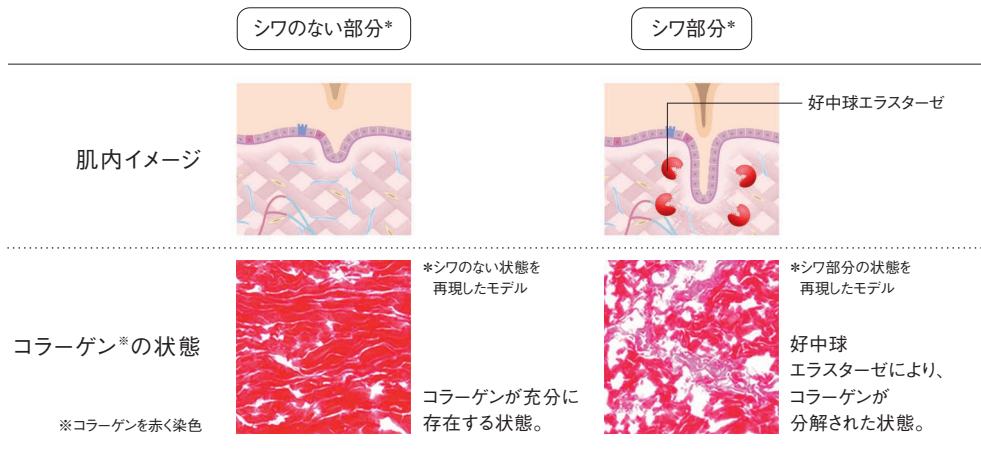
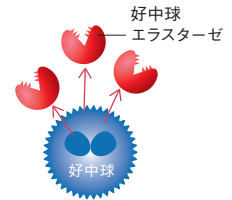
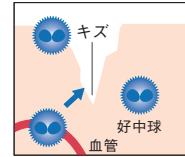
■好中球とは

免疫を担う白血球の一種。血液中に存在し、ウイルスの侵入部分やキズなどダメージを受けた部分に集まります。

■好中球エラスターゼとは

白血球の一種である好中球が分泌する酵素で、キズでダメージを受けた組織を分解します。

シワの部位では、紫外線や、表情により皮フにかかる圧力で微弱な炎症が生じているため、それをキズと勘違いした好中球が集まり、コラーゲンやエラスチンなどの真皮の構成成分を分解して、シワができてしまいます。



(ポーラ化成工業 研究所調べ) *イラストはイメージです
※【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム

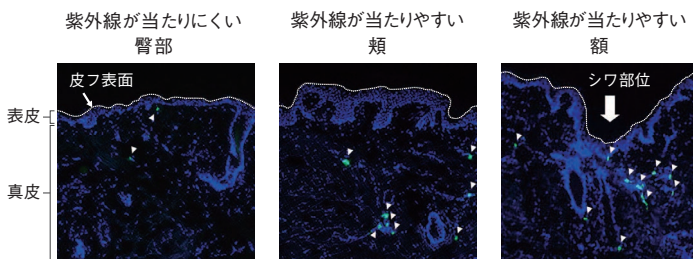
新着目

シワの一因「好中球エラスターゼ」は全顔に存在していた

今回ポーラは、シワの一因「好中球エラスターゼ」が顔の様々な部位に存在していたことに新たに着目。長年、紫外線を浴びた顔全体に好中球エラスターゼが増え、徐々に真皮が分解。散在シワの原因になっていると考えられます。下のデータの通り、紫外線の当たりにくいお尻などの皮フでは、蛍光緑色で表される好中球エラスターゼがほとんど認められません。一方、紫外線が当たりやすい頬などの皮フでは、シワを想起しづらい部分にもかかわらず、好中球エラスターゼが多数認められます。

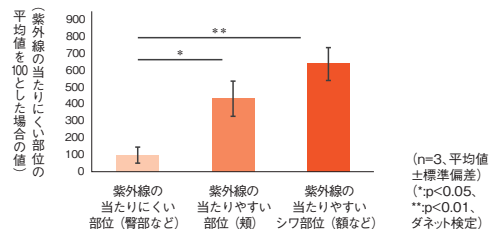
目尻や頬などの目立つシワの部分より少ないものの、紫外線が当たりやすいため、好中球エラスターゼが多く存在していることが示唆されます。

<好中球エラスターゼの分布>



▽の先の蛍光緑色部分：好中球エラスターゼ 青色：細胞の核

<単位面積あたりの好中球エラスターゼ陽性細胞数>



<方法>

皮フを採取して、組織切片を製作し、好中球エラスターゼを認識する蛍光標識された抗体を添加。各部位について3名分の組織切片を顕微鏡で観察し、単位面積あたりの蛍光標識された細胞の数をカウントして平均値を算出。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

シワ改善有効成分「ニールワン[®]※1」のシワ改善メカニズム

シワ改善有効成分
ニールワン[®]



2016年に日本で初めて※2シワ改善有効成分として
承認されたポーラ独自開発成分

〈名称の由来〉ニールワン (NEI-L1) : Neutrophil (好中球)、Elastase (エラスターゼ)、Inhibitor (阻害剤)、License (ライセンス)、1 (第一号)

好中球エラスターゼ
真皮成分を分解する酵素



+

ニールワン[®]
好中球エラスターゼを
ロックする成分



=

真皮成分の分解を抑制
好中球エラスターゼに合体して
真皮成分の分解を抑制



ニールワン[®]のシワ改善メカニズム

ニールワン[®]は、シワの一因である、コラーゲンを分解する好中球エラスターゼの働きを抑え、真皮のコラーゲン線維をキレイに整えることでハリ弾力を高め、シワを改善する。

■ポイント①

ニールワン[®]は、好中球エラスターゼの働きを抑え、シワ部分の真皮成分分解を抑制することで、真皮成分生成をサポートし、シワを改善する。

■ポイント②

ニールワン[®]は、真皮のコラーゲン線維をキレイに整えて、ハリ・弾力を与え、シワを改善する。

■ポイント③

ニールワン[®]は、好中球エラスターゼにより低下する線維芽細胞の活性を高め、シワを改善する。

■ポイント④

ニールワン[®]は、好中球エラスターゼによるMMP-1 (コラーゲン分解酵素)の活性化を抑え、シワを改善する。

※1: 三フッ化イソプロピルオキシプロピルアミノカルボニルピロリジンカルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

※2: 2016年7月にシワを改善する医薬部外品有効成分として初承認。

シワを改善し、つるとなめらかで、うるおいに満ちた、ぱんっと弾けるようなつややかなハリ肌を。
ポーラ独自開発のシワ改善有効成分と3つのポーラオリジナル成分配合

理論

ダイナミックな発想で、全顔に好中球エラスターゼが存在していることに着目。
全顔をケアしやすいテクスチャーで、つるんとシワ改善を目指す、
「スミングダイナミズム理論」を提唱。

成分

ポーラ独自開発のシワ改善有効成分「ニールワン[®]※1」を配合。
NEW ポーラオリジナル複合保湿成分「ニレナジー※2」 **NEW** 「Dリキッド※3」を配合。
ポーラオリジナル複合保湿成分「NEREリキッド N※4」を配合。

※1: 三フッ化イソプロピルオキシプロピルアミノカルボニルピロリジンカルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

※2: シラカバエキスとユーカリエキスの複合成分 ※3: コウキエキス-2とシナノキエキスの複合成分 ※4: 油性性桃葉エキスとスギナエキスの複合成分

Wrinkle shot

[製品特長]

シワ改善有効成分「ニールワン[®]※

ニールワン[®]には実は、弱点がありました。
水に溶かすとゆるやかに分解が進むという点です。

そこでリンクルショット メディカル セラム^{※2}では、水溶性の保湿成分を配合しながらもニールワン[®]を安定的に配合するために、ニールワン[®]を水に溶かさずに、オイルで包み込む独自の処方を搭載。肌の水分となじんでニールワン[®]が肌になじむ、気になる部分への使用を考えた独自処方です。



※1: 三フッ化イソプロピルオキシプロピルアミノカルボニルピロリジンカルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

※2: 【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム (医薬部外品) ・ 【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム N (医薬部外品)

シワ改善有効成分「ニールワン[®]※1」配合の新たな挑戦

そして今度は、ニールワン[®]を「全顔」に心地よいうるおいと共に届けるという新たな挑戦をしました。
たどり着いたのは、使用前に自分で2剤を混合し、混ぜてから30日間を目安に使い切る、独自の処方。
この方法に至るまでに様々な壁がありました。

医薬部外品としての2剤混合の3つの壁

医薬部外品として、規定量が、手元で均一に混ざる設計にするために、下記の3つの壁をクリアする必要がありました。

- 壁① 自分で混ぜて乳化する ⇒ 適する2剤の開発: 自身で混ぜることに適した粘度と界面活性剤を見出し実現。
- 壁② 2剤を均一に混ぜる ⇒ 小型容器の開発: 多くの材質・デザインを検討し、扱いやすい形に。
- 壁③ 精密な量を充填する ⇒ 設備の構築: 半導体製造に用いる特殊充填装置とオリジナル対策を、2024年1月に始動したポーラ化成工業の新研究生産拠点「テクニカルディベロップメントセンター」に構築。

様々な困難を乗り越え、約8年の年月を経て、
日本初、2剤を混合する、シワ改善医薬部外品の美容液
「リンクルショット メディカル セラム デュオ^{※3}」が誕生しました。



※1: 三フッ化イソプロピルオキシプロピルアミノカルボニルピロリジンカルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

※2: 2024年3月に二剤混合式のシワ改善医薬部外品として初承認

※3: 【販売名】ポーラ リンクルショット メディカル セラム デュオ

*イラストはイメージです

感触

全顔に行き届きやすい、みずみずしい感触

みずみずしくまるやかに伸び広がり、すばやく全顔になじむモイストフレッシュテクスチャー。
使うたびにつるとなめらかな肌感触に。

[製品特長]

処方①

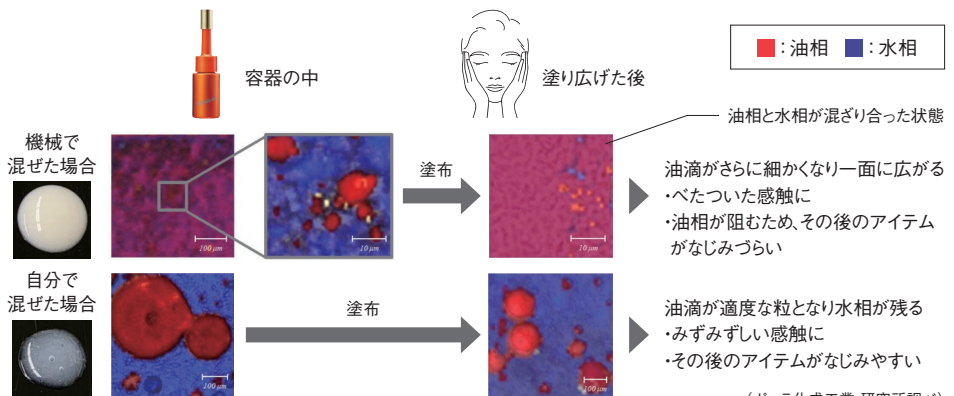
ニールワン[®]※を全顔になじみやすいみずみずしい感触で使用するための リンクルショットミックス処方

シワ改善有効成分ニールワン[®]を全顔になじみやすいみずみずしいテクスチャーで使用するために、2つの剤を自分で混ぜ合わせる、ポーラ独自のリンクルショットミックス処方を搭載。今回の製品では、自分で混ぜることでみずみずしい感触と、後に使うアイテムのなじみやすさを両立します。

下の図は油と水の混ざり方を示すデータです。油相を赤く、水相を青く示しています。2つの剤を機械で混ぜた場合、細かい油の粒が分散します。肌に塗り広げると細かく混ざって、一面に油が広がっている状態になるため、べたついた感触になり、その後のアイテムがなじみづらくなります。

一方、自分で混ぜた場合、油滴が大きな粒となり、肌に塗り広げても右のように水相が残るため、みずみずしい感触と、その後に使うアイテムのなじみやすさを両立します。

<方法>
顕微ラマン分光分析法で測定し、塗布前後を比較。

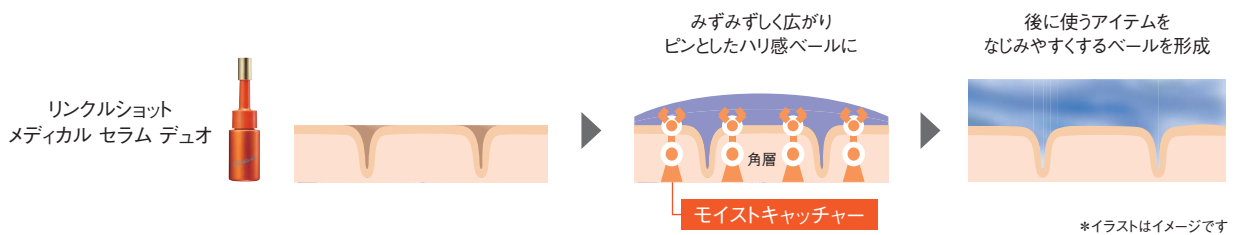


※:三フッ化イソプロピルオキソプロピルアミノカルボニルピロリジナルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na

処方②

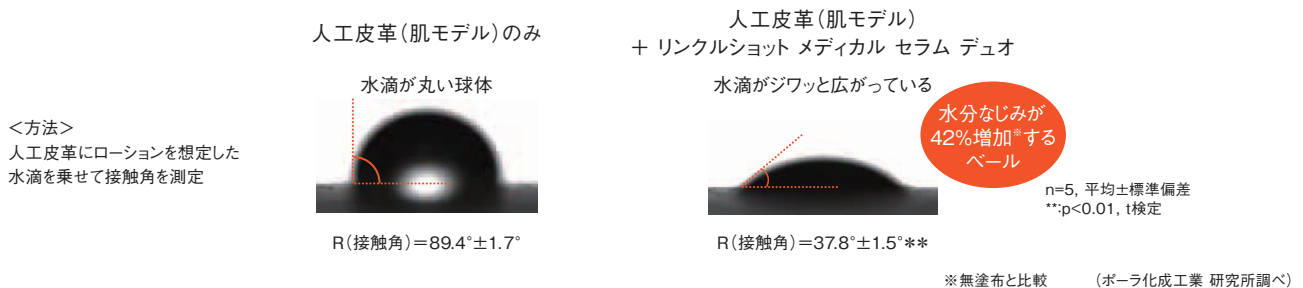
ピンとしたハリ感ベールをまとい、つるとなめらかな仕上がりを目指すベール設計

ピンとしたハリ感ベールを形成し、つるとなめらかな仕上がりを目指すベール設計。さらに、モイストキャッチャーを配合。うるおいを与え、ベール内のうるおいをキープし、後に使うアイテムがなじみやすいベールです。



下の図は、ベール設計によるなじみやすさを表すデータです。

肌を模した人工皮革に水滴を乗せると、なじまず丸い球体のままですが、リンクルショット メディカルセラム デュオを塗布してから水滴を乗せると、ジワッと広がり、なじみやすさが42%増加しました。



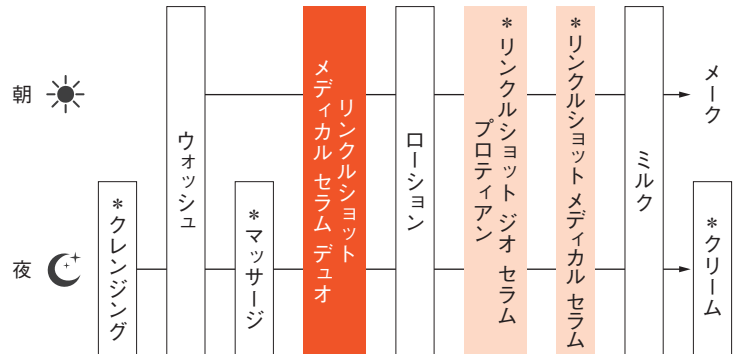
Wrinkle shot

[製品特長]

使用ステップ

洗顔後、ローション(化粧水)の前に、
先行*美容液としてお使いください。

洗顔後の素肌に塗る土台ステップとして
先行美容液にしました。



※：洗顔後、化粧水前に使用する

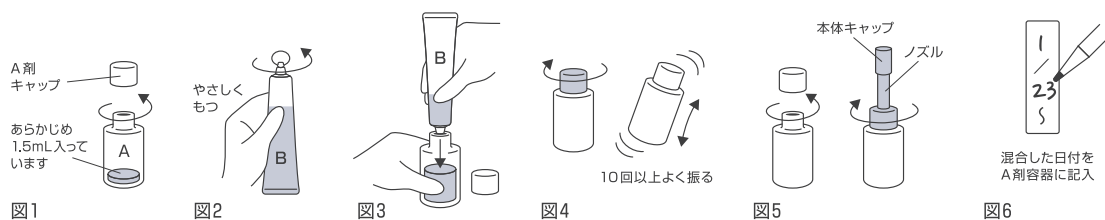
*肌の悩み・状態に合わせてお使いください。クレンジングは、メーク・UVカット品使用時は必ずお使いください。

使用方法

〈 ご使用前の準備 〉 混ぜる前のA剤とB剤をそのまま使用しないでください。

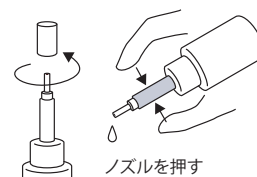
- ① A剤のキャップをはずします(図1)。A剤容器にはあらかじめA剤が1.5mL入っています。
- ② B剤のつまみをひねるようにはずします(図2)。このとき中身が飛び散らないよう、チューブをやさしくもってください。
- ③ A剤容器の口にB剤をあてるようにして、B剤をA剤容器に入れます(図3)。
B剤は必ず全量を入れてください。このときA剤容器が倒れないよう注意してください。
- ④ ①ではずしたA剤キャップをA剤容器にしめ直し、10回以上よく振ってください(図4)。
- ⑤ A剤キャップをはずし、付属のノズルと本体キャップにつけかえてください(図5)。はずしたA剤キャップは捨ててください。
- ⑥ 最後に、混合した日付をA剤容器【 / ~】欄に油性ペンで必ず記入してください(図6)。
日付が消えかかってきた場合は、再度上からなぞり、書き直してください。

一度混合した美容液は、混合した日から1ヶ月を目安に使い切るようにし、2ヶ月を超えたものは使用しないでください。



〈 ご使用方法 〉

ウォッシュ、またはマッサージの後にご使用ください。
本体キャップを回しながらはずし、容器を逆さにしてノズルを押しながら適量(直径約1.5cm大)を手にとり、顔全体にやさしくなじませてください。
その後、ローションをご使用ください。



適量
直径
約1.5cm



Wrinkle shot

[製品特長]

デザイン

まだ見ぬ新境地への体験を表現

リンクルショットブランドのデザインコンセプト「Discovery」を継承し、まだ見ぬ新境地への探求を表現。まるで実験のような使用法へのワクワク感、体験したことのない未知の経験に対する期待を込めた、今までのポーラには無かった新しい容器デザインです。カラーリングは、毎日使うのが楽しみになるような、きらりとゴールドに輝くキャップと、宇宙飛行士が着用する宇宙服の色からインスピレーションを得たリンクルショットブランドの代名詞ともいえるチャレンジングオレンジを彩りました。



社会・地球環境への取り組み

商品外箱



生物由来のインクを採用

生物由来の資源（バイオマス）から成分を抽出して製造したインクを一部使用し、箱への印字を行うことで、生態系の保護に繋げる。

森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとに作られた木材を使用した、森林認証紙を採用。

容器



ガラス

再生可能な透明ガラス容器を採用。

バイオPE

環境に配慮したバイオPEを採用。

パンフレット



WEBパンフレットを採用

ペーパーレスへの取り組みとして、紙のパンフレットを廃止し、箱に記載されたQRコードを読み込むことで使用方法、全成分表示が閲覧可能なWEBパンフレットを採用。

※使用方法・使用量などは外箱にも記載があります。 ※5言語対応(日本語・英語・繁体字・簡体字・タイ語)

主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称
有効成分	ニールワン ^{※1}	三フッ化イソプロピルオキソプロピルアミノカルボニルピロリジナルカルボニルメチルプロピルアミノカルボニルベンゾイルアミノ酢酸Na
保湿成分	ニレーナジー ^{※2}	シラカバエキス、ユーカリエキス
	Dリキッド ^{※2}	コウキエキス-2、シナノキエキス
	NEREリキッド N ^{※2}	油溶性桃葉エキス、スギナエキス
	モイストキャッチャー	ポリグリセリル-3メチルグルコースジステアレート

※1: 医薬部外品有効成分 ※2: ポーラオリジナル複合成分 ・アレルギーテスト済み(すべての方にアレルギーが起きないというわけではありません)



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA

新発見

全顔の様々な部位に存在する好中球エラスターゼは、
真皮を分解するだけでなく、線維芽細胞そのものにも影響を与えていた

ポーラは、好中球エラスターゼが、コラーゲンやエラスチンなどの真皮の構成成分を分解するだけでなく、真皮を作る線維芽細胞そのものにも影響を及ぼしていたことを新たに発見しました。

新発見

好中球エラスターゼの線維芽細胞に対する4つの影響

好中球エラスターゼが線維芽細胞に与える影響は以下の4つです。

①線維芽細胞の増殖力低下

線維芽細胞のミトコンドリアのエネルギー産生を低下させることによって、線維芽細胞の増殖力を低下させます。

②線維芽細胞の遊走力低下

線維芽細胞が皮膚の中を移動する力を弱めます。シワの部分にかけつけづらくなる可能性が考えられます。

③線維芽細胞のコラーゲンを分解する酵素の遺伝子発現を高める

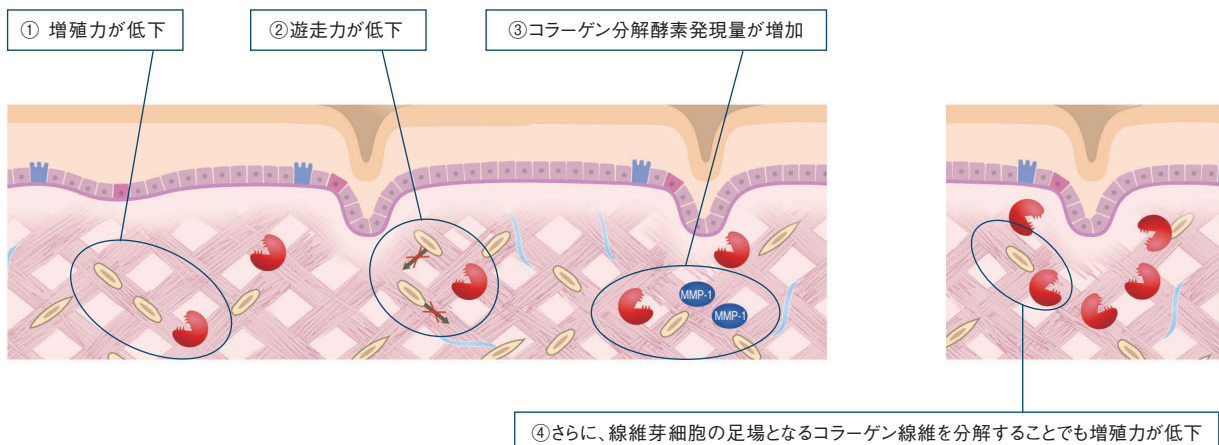
好中球エラスターゼは、それ自身がコラーゲンを分解するだけでなく、線維芽細胞がコラーゲンを分解する酵素「MMP-1」を生み出しやすくします。

④好中球エラスターゼは、線維芽細胞の足場にダメージを与えることによっても、細胞の増殖力を低下

線維芽細胞はコラーゲンの上に接着して存在していますが、好中球エラスターゼはコラーゲンを分解し足場を悪くすることによって、その上に存在している線維芽細胞の増殖力を弱めてしまいます。

このように、好中球エラスターゼは、様々な面から線維芽細胞にダメージを与えて、シワがつくれやすくもとに戻りにくい状態にしていることがわかりました。

好中球エラスターゼにより、線維芽細胞の



(ポーラ化成工業 研究所調べ)

*イラストはイメージです